



官林作業書纂

甲

974

子



114
A3847

官林作業書纂

目錄

官林作業概規

殖樹掛心得

伐木掛心得

運材掛心得

出納掛心得

官林監守人心得

官林巡視人心得

官林播種規則

助手巡視人監守人傭入規則

伐木規則

錦織網場官林取扱規則

內務省

同 民材取扱規則

木曾川筋流材取扱規則

白鳥貯木所規則

賣材規則

入札拂規則

相當拂規則

木材相當取調規則

出納規則

作業費金取扱ニ付銀行ノ命令書

殖樹掛心得

第一條

當掛ハ官林樹木繁殖保護長養ノ事ヲ管掌ス局長ヨリ別段ノ達アルニ非レハ伐木運材出納ノ事ニ関スルヲ得ヘカラス

第二條

樹木ヲ繁殖セント欲セハ先ツ地勢地味氣候運輸及其近傍部落ニ於テ用材薪炭等需用ノ度ヲ謀ルヘシ但シ右ハ現今ノ景況ノミニ拘ラス從前ヲ追想シ後來ヲ豫度シテ着手スルヲ要ス

第三條

樹木ノ繁殖ハ從前良好ノ森林ヲ保護スルハ申迄モ無ク密ナルモノハ之ヲ節シ疎ナルモノハ之ニ補ヒ伐木跡ハ

適宜注意シテ新苗ヲ生セシメ老樹惡木、洗伐シテ良母ノ新樹ヲ生セシメ原野丘陵トイヘト漸次良樹ヲ茂生セシムルヲ要ス

第四條

新樹ヲ作ルハ成ルヘキ丈注意ヲナシ二等伐木ノ節自己ノ注意ハ言ヲ待タス一等伐木三等伐木ノ節ハ伐木掛又ハ拂受人ニ照會シ母樹ヲ存シテ兒苗ヲ生セシムヘシ其己ムコトヲ得ヌ播種ヲ為スヘキ時ハ可成丈費用ヲ省キテ良母ノ種苗ヲ購リ心切ニ播種ヲ為シ得ヘキノ見込ヲ立出納掛ニ合評シテ局長ニ出スヘシ
但本條ノ手續ハスヘテ播種規則ニ照準スヘキモノトス

第五條

出張区内ノ官林助手巡視人監守人ハ局長ノ定メタル員數ノ助手巡視人監守人備入規則トニ照準シ備入ル、コトヲ得ヘシ

第六條

時々擔當セル官林ヲ巡廻シ林相ノ盛衰ハ勿論監守巡視ノ勤惰ヲ監督シ書式ニ照シテ各月報告書ヲ作り翌月五日迄ニ局長ニ差出スヘシ

第七條

擔當セル林区内ニ於テ輪伐ヲ為シ得ヘキ時キハ其旨ヲ豫メ局長ニ申立許可ヲ得タル上ハ前年度十二月マテニ其翌年度七月以後伐木スヘキ箇所木數ヲ調ヘ書式ニ照シ幾平度伐木箇所木數ノ概算表ヲ作り圖面ヲ添ヘ申立ツヘシ

第八條

擔當セル林區内ノ官林茂密又ハ老衰シテ洗伐ヲ要スル
片ハ前條ノ手續ヲ以テ局長ニ申立ツヘシ

第九條

官民ヲ論セス用材又ハ薪炭用ノ為メ林木拂下ケル請求
シ運材掛ヨリ協議アル時ハ見込ヲ立伐木掛出納掛運材
掛ニ合評シテ局長ニ伺フヘシ

第十條

一等伐木着手ニ付局長ヨリ某官林ヲ伐木掛ニ渡スヘキ
旨ヲ達セラルル時ハ其官林ヲ伐木掛ニ渡シ竣功ノ節ハ
再ヒ右官林ヲ受取り原木表ト伐株トヲ対調シ書式ニ照
シ原木伐株対照表ヲ作り局長ニ差出スヘシ
但扱伐ノ節ハ伐木掛ト立合鑑印シテ之レヲ同掛ニ渡

スヘシ

第十一條

伐木掛ニテ一等伐木着手ノ節ハ時々見廻ラナシ鑑印ナ
キ樹木又ハ存置スヘキ樹木ヲ伐斫損傷セス肥土ヲ潰劣
セサル様注意スヘシ

第十二條

但伐木掛ノ取扱宜ラ失スル時ハ懇切ニ掛合ヲ為スヘ
シ萬一猶悛サレハ直ニ局長ニ申立ヘシ
伐木々数寡少ナルカ又ハ他ノ事故アリテ局長ヨリ当掛
ニ特命シテ二等伐木ヲ着手セシメラルル時ハ伐木規則
ニ從ヒ從事スヘシ

第十三條

薪炭木等ノ拂下ヲ許可シ拂受人ヲシテ三等伐木着手セ

シメラル、時々監守人巡視人ヲシテ検査セシムヘシ

第十四條

一丁以下ノ藪ニ生シタル古竹洗伐及下草雜木又ハ松草竹皮等ハ豫メ局長ノ許可ヲ受ケタル箇所ニ限リ相当ノ留札ヲナシテ入札拂ヲ為スヲ得ヘシ右ノ場合ニ於テハ鑑札ヲ渡置時々監守人巡視人ヲシテ之ヲ検査セシムヘシ

第十五條

立枯風折根返虫付燒木等三十本以上ハ局長ハ相同三十本以下ハ即時伐木シ相当ノ留札ヲ為シ入札規則ニ從ヒテ入札拂ニ附シ伐木費用ハ右拂代ノ内ヨリ下渡シ殘金ヲ上納スルヲ得ヘシ但拂代ノ高伐木費ニ供スルニ足

ラサ場合ニ於テハ立木ノマ、入札拂ニ付スヘシ右ノ場合ニ於テハ監守人ニ相違シ嚴重ニ取締ラセ巡視人ニ達シ伐跡ヲ検査セシムヘシ

第十六條

第十二條第十三條第十四條第十五條ノ場合ニ於テ代金収入スヘキ時ハ局長ノ定メタル銀行又ハ郵便為替局ニ隔遠ナル土地ノ外其代金ヲ納人ヨリ銀行又ハ郵便為替券ニテ納メサセ本局又ハ最寄ノ定メラレタル銀行ニ贈致スヘシ

第十七條

一等二等官林ハ重ニ用材ヲ立立三等官林負外官林ハ重ニ薪炭ヲ立立レラ目的トスヘシ之ヲ要スルニ薪炭林ト分ナラサレハ二等官林ヲ保存シ得ヘカニサレカ故ニ三

等官林賣外官トイハレテ守テ保護スヘシ

第六條

鑛山用林ハ一州ノ方法ニ據リ取扱フヘキ者ナリトイヘ
氏從前ノ慣行アリテ遷ニ改正シ難キ場所ハ舊法ヲ酌量
シ他日需用ニ欠ケサル様實地相当ノ見込ヲ立テ本局ニ
上申スヘシ

第十九條

部分林ハ他日ノ官林ニ準シ時々見廻ルヘシ

第廿條

人民ニテ所有セル山林トイヘ氏伐木跡荒蕪スルカ又ハ
其他ノ事故アリテ低價ニ買入レ置キ他日巨多ノ利益ヲ
生スヘキ見据アル時ハ書式ニ照シ民林買上見込表ヲ作
リ局長ニ申立ヘシ

第廿一條

各地方ニ於テ旧藩縣中從前施行セシ林法ハ多論其他山
林關係ノ事件ニテ其土地ニ於テ一種ノ慣習アルモノハ
一々之ヲ記シ毎條實地ノ得失ヲ考察シテ差出スヘシ

第廿二條

都府名邑ニシテ木材ノ需用アリ相場時々高低スル場所
ハ豫メ本局ニ届ケ置木材相場取調規則ニヨリ月末コト
ニ局長ニ報告スヘシ

第廿三條

民有山林ト密ニ不都合ノ儀アリ改良セサルハカラスト
思考セラルル旨ハ見込相立別紙ヲ以テ申立ツヘシ

第廿四條

官林箇所及別木數等ニ増減ヲ生スル時ハ遺漏ナク官林

帳官本帳ヲ校正シ實地ト抵牾スルコト勿ラシムヘシ

第廿五條

毎會計年度ノ末ニハ必ズ書式ニ從テ官林増減表官林増減表及ヒ官林收益簿表報告書ヲ製シテ局長ニ差出スヘシ

伐木掛心得

第一條

當掛ハ官林伐木一切ノ事及林木刈流シ流林取扱細場等ノ事ヲ管掌ス局長ヨリ別段ノ達マルニ非レハ殖樹運林出納ノ事ニ関スルヲ得ヘカラス

第二條

一等伐木ノ箇所木數ハ局長ヨリ命セラハル者トス發シ別段ノ見込マルキハ陳述ヲ為スコトヲ得ベシ
此心得申
單ニ伐木
ト唱アル者トスハ
テ一等伐木トス

第三條

伐木ヲ命セラレタル時ハ委員ノ旅費給与袖日雇木扱給及ヒ伐木一切費用ノ見込ヲ立テ書式ニ照シ伐木費見込簿表ヲ作り出納掛ハ令評シテ局長ノ閱覽ヲ經テ内務卿

ノ許可ヲ請フヘシ

第四條

伐木ノ地ニ出張シタル上ハ伐木スヘキ官林ヲ植樹掛ヨ
リ受取り伐木規則ニ從ヒ適宜伐木シ松日雇等ノ勤情ヲ
監シ備入又ハ解備スルヲ得

第五條

伐木ノ節ハ豫メ伐木スヘキ木種ヲ撰定印シ可成丈他
木ヲ障害セズ肥土ヲ潰劣セズ自然生ノ小苗ヲ害セズ母
樹ヲ存置シ新苗ヲ続生セシムル様注意スヘシ

第六條

伐木セル跡ハ原木表ト現伐株トヲ対照檢査シ書式ニ照
シ原木現伐株対照表ヲ作り跡地ヲ植樹掛ニ返スヘシ

第七條

伐木セル木材ハ豫メ其實數寸間木種ヲ取調簿表ヲ作
リ局長ヨリ命セラレタル綱場又ハ貯木所ノ官吏ニ聚會
シ適宜運出シテ右官吏ニ渡スヘシ但其場合ニ於テハ双
方立合相改メ書式ニ從ヒ其ヶ所着林檢知表ニ通テ作り
双方連印シ一通ハ貯木所ニ藏シ一通ハ携へ歸リ局長ニ
復命スヘシ

第八條

伐木中許可セラレタル松日雇等給料内渡又ハ時宜ニヨ
リ松日雇等ニ手当給与ノ儀等ハ其實數ヲ明記シ局長ヨ
リ命セラレタル銀行ニ聚會シテ渡サシメ及之ヲ監視ス
ルヲ得ヘシトイヘ尺局長ヨリ特別ノ達アルニ非レハ現
金ノ授受ニ関スルヲ得ヘカラス

第九條

前條、如ク銀行ニ與會セル金貨等、書式、與ニ日締表
月締薄表ヲ作り日締表ハ每十日月締薄表ハ翌月初五日
マテニ局長ニ向テ差出スヘシ

第十條

事務整頓ノ上ハ書式ニ照シ報告書及ヒ最前見込ノ實地
費用トノ増減比較薄表ヲ作り復命スヘシ

第十一條

二等伐木着手ノ時ハ二等伐木擔当者ヨリ差出セシ伐木
勘見込薄表ヲ精檢シ出納掛ニ合評シテ局長ニ差出スヘ
シ

第十二條

三等伐木着手ノ時ハ殖樹掛ノ合評ニ對シ見込ヲ陳述ス
ヘシ

第十三條

伐木網場川筋刈流シ流林取扱ノ如キ總テ當掛ノ掌管ト
ナストイヘド木曾川ノ如キハ錦織網場マテハ伐木委員
ノ擔當トシ網場ヨリ白鳥マテハ錦織網場詰ノ擔當トシ
混淆セシメサル者トス

運材掛心得

第一條

當掛ハ木材貯藏運搬及發賣一切ノ事ヲ掌管ス局長ヨリ別段ノ達シアルニ非レハ殖樹伐木出納ノ事ニ関スルヲ得ヘカラス

第二條

伐木掛ヨリ木材ヲ運致セハ貯木所ニ於テ伐木掛ト立合之ヲ点檢シ書式ニ從ヒ某箇所着材檢知表ニ通ヲ作り双方檢印シ一通ヲ受取リ他日ノ公証ニ供スヘシ但綱場ヨリ貯木所ニ廻材シ又ハ甲ノ貯木所ヨリ乙ノ貯木所ニ廻材スル時ノ如キモ總テ此手續ヲ用フベシ

第三條

伐木掛ヨリ受取タル木材ハ其種類及ヒ伐木セシ年度木

質ノ善惡縦横ノ寸間仕向ケ先等ヲ各白ニ仕分ヲ爲シ書式ニ照シ表面ニ記入シテ貯藏スヘシ

第四條

前條ノ手續相済ミタル上ハ他ニ仕向ケヘキ見込ノ木材ハ適宜廻材ノ見込ヲ立書式ニ照シ廻材費見込簿表ヲ作リ出納掛ニ合評シテ局長ニ出スヘシ其所ニテ賣拂フヘキ見込ノ木材ハ賣材規則ニヨリ相当ノ見込定價ヲ付ケ簿表ヲ作り殖樹掛出納掛ニ合評シ局長ノ閱覽ヲ経テ内務御ノ許可ヲ請フヘシ

第五條

局長ヨリ相当ノ見込定價ヲ定メラレタル上ハ時宜見計入札拂又ハ相当拂ヲ為スヲ得ヘシ但時價騰貴シタル時ハ直ニ上申シテ定價ヲ改ムヘシ若シ等閑ニ經過セハ

其責ニ任スヘシ

第六條

断ヘス市價ニ注意シ伐木ヲ要スルト見込ム時ハ意見ヲ書取出納掛ニ合評シ局長ニ出スヘシ

第七條

木材拂渡ヲ請求スルモノアリテ恰好ノ木材ナキ時ハ殖樹伐木兩掛ニ協議シタル上請求人ト期限及代價ヲ商議シ見込ヲ立出納掛ニ合評シ局長ニ伺出ヘシ

第八條

各所現材一覽表ハ每一月木材相場一覽表ハ毎十五日例規ノ通書式ニ照シ局長ニ出スヘシ

第九條

木材發賣ノ事ハ当掛ノ掌管ナリトイヘドモ現金出納ハ

局長ヨリ命セラレタル銀行又ハ郵便為替局ニ照會シテ
之ヲ為サシメ、当掛ハ局長ヨリ別段ノ達アルニアラサレ
ハ之ニ關係スルヲ得サル者トス

第十條

貯木所定額ノ經費ト雖モ特別ノ許可アリタル事項ノ外
伺ナク使用スルヲ得ス

第十一條

各貯木所ハ書式ニ照シ賣材日締表月締簿表及經費日締
表月締表ヲ作り日締表ハ毎翌日月締簿表ハ毎翌月五日
マテニ出納掛ニ合評シテ局長ニ出スヘシ

出納掛心得

第一條

當掛ハ作業出納一切ノ事ヲ管掌ス

第二條

各掛ヨリ金銀ノ受渡ヲ照會スル時ハ其適否ヲ覆視檢討
シ意見アレハ之ヲ陳述シ意見ナケレハ捺印シテ局長ノ
裁可ヲ請ヒ局長ノ印可ヲ確認シタル上受渡ノ事ニ着手
スヘシ

第三條

當掛ハ局長ノ印可ヲ確認シタル上會計局ニ照會シテ
長印可金銀ヲ受渡シ又ハ受渡ヲナサシムルヲ得ルト
イハ氏總テキ形ニテ之ヲ為シ局長特別ノ令アルニ非レ
ハ現金ヲ扱フヲ得ス

第四條

樹藝監守巡視伐木發賣等諸簿表ノ如キ然テ遲滞ナク覆
視檢討スヘシ但シ各掛ニテ定期ヲ愆ル時ハ之ヲ督責ス
ルコトヲ得ヘシ

第五條

当掛ハ常ニ出納ニ関スル諸簿表ヲ精頓シ然テ日締月締
ヲ為シ遲滞ナク局長ニ出スヘシ

第六條

作業費出納條例ニヨリ大藏省ニ廻送スヘキ計算書ハ期
限ヲ愆ラス昏式ニ從ヒ之ヲ精書シ局長ハ認可ヲ得内務
卿ノ高覽ヲ經テ會計局ニ廻送スヘシ

官林監守人心得

第一條

官林監守人ハ常ニ受持ノ官林ニ見廻リ取締ヲ注意スル
シ

第二條

監守人ノ常々注意スヘキ件々凡ノ如シ

第一 森林ノ盛衰樹木ノ榮枯

第二 官林柵札繞圍杭木境木ノ朽腐又ハ破損

第三 苗木塲柵墻ノ破損

第四 官林野火除土隈又ハ堀溝ノ荒蕪

第五 官林ヲ侵蝕スル者

第六 官木ノ民有地上ニ掩出スル者

第七 森林中ノ木竹根皮葉脂及松茸竹筴草蓀土石

内務省

禽獸等ヲ盜取リ又ハ盜取ラント謀ル者及毀傷シ又ハ毀傷セント謀ル者

第八 伐木具ヲ持ツト持タサルトヲ問ハス森林中ニ立入ル者

第九 森林中ニテ火ヲ焚ク者又ハ火ヲ放ツ者
第十 牛馬羊豚ノ入込ヲ禁セス又ハ之ヲ入込マシムル者

第十一 禽獸虫類ノ傷害ニテ損木ヲ生シ又ハ生セントスル者

第十二 風雷霜雪ノ傷害ニヨリ損木ヲ生シ又ハ生セントスル者

第十三 官木ト認ムヘキ樹木ヲ取扱フ者
第十三條

第二條ノ件々ヲ認ル時ハ野獸ハ捕射シ或ハ追拂家畜ハ取押ハ人類ハ其事故ヲ糾シ時宜ニヨリ取押ハテ其筋ニ訴ヘ出其他ハ巡視人ニ申立ヘシ但巡視人ノ巡回シ来ラサル片ハ書面ニテ林区出張官ニ通知シ置キ巡視人巡回ノ砌案内シテ点閱ヲ受クヘシ

第四條
月初コトニ前月中官林内ニアリタル事故ヲ記シタル報

告書ヲ作り林区出張官ニ差出スベシ官林見巡ノ節異状アリ各込置キ後証但成ヘキ式ニ從フヘシ

第五條
官林ニ関スル官吏及官林巡視人出張シテ官林ノ事ヲ問ヒ又ハ實地立合ヲ達スル時ハ其命令状ヲ視認メ異議ナク之ヲ告ケ又ハ案内スヘシ

第六條

人民官林ニ近キ民有林ニ火入シ又ハ伐木スルハ官林ニ至リ注意スヘシ

第七條

官林ニ發火アル時ハ直ニ其場ニ臨ミ實地ヲ檢シ第四條ニ準シ申報スヘシ

第八條

官林ニ迷人アレハ相当ノ保護ヲ与フヘク変死人等アル時ハ直ニ戸長ニ通知スヘシ

第九條

官林ノ為メ利益アルヘシト思考スルコトアレハ時々林区出張官ニ申立ヘシ

官林巡視人心得

第一條

官林巡視人ハ間断ナク其擔負セラレタル官林ヲ巡視スヘシ巡回ノ節ハ必命令状ヲ離スヘカラス

第二條

巡視人ハ監守人ノ注意スヘキ件々ハ總テ注意ヲ為シ犹監守人ノ勤惰ヲモ注意スヘシ

第三條

官林巡視一回ヲ終ルコトニ報告書ヲ作り林区出張官ニ報告スヘシ但成ルヘキ文書式ニ従フヘシ

第四條

監守人ヨリ出張ヲ請フ時ハ事務ノ大小輕重ヲ量リ事宜ニヨリテハ直ニ其地ニ出張スヘシ

第五條

巡視ノ砌ハ獵銃ヲ携ヘ官林有害ノ鳥獸ヲ射獲ニ其所有ト為スコトヲ得ヘシ然レ氏預メ其筋ノ許可ヲ受ケ置ヘキハ勿論鳥獸射獲ノ為ノニ其心志ヲ蕩シ官林巡視ノ注意ヲ惰ルヲ許サス

第六條

巡視ノ際官林改良上ニ厚ク注意ヲ為シ利害アルヘシト思考スルコアレハ必ス林区出張官ニ申出ヘシ

第七條

受持箇所ニ於テ伐木並苗木仕立苗木植付又ハ水流ニ陸運等ノ事アルニ方テハ旁ラ其事ヲ監護スヘシ

第八條

地所崩壞樹木延焼等非常ノ事ハ勿論立枯退返其入等ノ

損木アルハ林区出張官ニ届出ヘシ

播種規則

第一条

一 樹木ヲ種植スヘキ官有ノ山林ヲ見立地味ノ肥瘠乾濕
地勢ノ險易陰陽運搬ノ便否氣候ノ寒温等ヲ精察シ見
込立テタル分ヨリ書式ニ照シ差出スキ不局ノ許可ナ
キ時ハ決シテ

着手スヘカラス
第三条皆之ニナラ 第二条

但民地タリト雖凡地味良好運搬便利ナルニ該所有
主資金ニ乏キカ或ハ他ノ事故等アリテ荒廢ニ屬シ
購得シテ官有トナスヘキ見込アル者ハ其事由ヲ稟
議スヘシ

第二条

一 林地ヲ見立ルノ後種植スヘキ樹類ノ考案スヘシ本末
稜確窮髪ノ地ニ非ルヨリハ樹木生殖セサルノ地ナレ

ト虽氏壤土埴土塩土墻土惡土岩磧或ハ高阜燥熱平坦
傾歛南北寒暖等ニ因テ樹木ノ適否ヲ殊ニスルカ故ニ
篤ク注意ヲ為シ第一条ニ準スヘシ

但樹木ハ概子山腰山腹ニシテ水氣充分ナル地ニ善
ク生殖ス高嶺海濱等烈風ノ地ハ松樹ヲ植ルヲ良ト
ス就中赤松ハ白土薄地ト虽氏産育ス又樟櫛蚊母樹
ハ暖地ヲ好ミ樺刺楸シホーチレハ冷寒ヲ畏レス抱
操ノ類ハ傾歛ノ地ニモ亦生育ス其適否ヲ精察スヘ
シ

第三条

一地势平坦氣候温暖ナル地方ハ実植苗木モニ宜シ其
馭寒風雪ノ地或ハ傾斜歛峻ノ地及ヒ獸害多キ地ハ苗
植ニ宜シク実植ニ可ナラス又季候ハ春秋分後ノ二季

ヲ適トスト虽氏寒凍ノ地ニ於テハ通常春秋分後ノ候ニ
於テ着手スヘシ其他遷條壓條等地味ト樹類トニ由テ
施設ノ見込ヲ立ツヘシ

但シ季候ノ天然ヲ言ヘハ各樹ノ子実成熟シテ自然
ニ播落スルノ時ヲ以テ播種スルヲ適トスヘシト虽
氏人為ヲ以テ施設スルハ地方ノ寒暖ヲ問ハス通
常春秋分後ノ候ヲ以テ良トス且樹木ノ生育ハ何等ノ
法ヲ用フト虽氏實生ノ善キニ勝レルモノナシ厚注
意スヘシ

第四条

一木實ヲ採收スルニ當リ必毋樹ノ年度盛ニシテ勢力充
全ナルモノニ就テ採ルヘキハ素ヨク論ヲ俟ス而シテ
其結実ノ候中期ニシテヨク成熟シタルモノヲ最良ト

ス初期末期及未熟ノ者ハ播種スルモ竟ニ無益ニ屬ス
且其子種必シモ該林地近傍ノモノニ限ルヘラス然
然該地適宜ト認了スルモノハ可成丈各地方著名ノ子
種ヲ採收スヘシ

仁木果ニ迷房ヲナセルモノ莢室ヲナセルモノ或ハ
果瓢殼莢輕虛重窄其賦形各色ニシテ一ナラス然レモ
其良否ヲ辨スルニハ大抵其介量ヲ以テ知ルヘシ管
ヘハ松子ハ一介ノ重量ニシテ凡ソ幾斤ノ數アルモ
ノヲ上品トシ幾斤ナルモノヲ可品トシ又ハ櫛実ハ
一升ノ計量ニシテ若干ノ重量ニ滿タサルモノヲ中
下等トナシ或ハ重窄ナルモノハ水中ニ浸シ其沈ム
モノハ完全トナシ其浮ヘルモノハ病害アリトスル
類ナリ又之ヲ貯フルニ風寒ノ痛ク冒サ、ル所ニシ

テ囊袋匣箱等ニ藏メテ可ナルモノ扁拍羅漢アリ又
拍松桐等僅ニ濕氣ヲ含メル土中ニ埋藏スルヲ良トスルモノ
栗櫛ナラぬ母樹
山毛榉クマキ等アリ而シテ年内ニ下種スヘキモノ歳
ヲ踰ユヘキモノ數歳保貯スヘキモノ等各其品類ニ
由テ其法ヲ異ニスヘシ

第五條

一子実ヲ播種スルノ地ハ能ク之ヲ鋤耙シ糞土ヲ施スヘ
シ又播種ノ法 豎種 横種 倒種 平種 其類ニ隨
テ各宜シキアリ而シテ土ヲ覆フノ厚薄ハ其子実樹上ニ
在テ熟糜シ若干尺ノ高キヨリ標落シテ土中ニ没入ス
ルノ深淺ヲ以テ天然ノ適度トス之ヲ計量スル片ハ自
ラ覆土ノ分量ヲ得ヘシ

但樹木ハ大抵一本ニシテ陰陽ノ理ヲ具ス故ニ子実

亦一顆一介ニシテ此理ヲ具スルモノナリ然レモ
或ハ雄木雌木ノ區別ハキモノアルモアリ甘
區別アルモノニ限り結果スルモノハ必雌木トス故
ニ多ク子実ヲ得ント欲スルニハ雌木ヲ良トスレモ
用打ナスニハ雄木ニ如カス雄木ハ其長育迅速ニ
シテ且雌木ニ比スレハ喬大ヲナスモノナリ故ニ雌
二雄ハノ割ヲ以テ之ヲ栽植スヘシ

第六條

一 苗木ハ実生ヨリ一期年ヲ經レハ稍々移植スヘキモノ
ナレハ其苗床中ニ於テ二三年乃至三四年毎ニ兩三回
移植セシモノヲ良トス且コレヲ種植スルニ当リ良善
ナルモノト病害アルモノトヲ辨別揀退スヘシ
但苗木ヲ植ルトキニアタリ可成苗根ニ糞土ヲ施ス

ヘシ

第七條

一 播実植苗トモニ其距離ヲ定ムヘシ然レモ最初ヨリ敢
テ間隔ノ疎ナルヲ要セス故ニ播種スルニハ大抵距離
三尺ヲ法トス或ハ子実ノ大ナルモノハ撒布スルモ可
ナリ而メ其長スルニ隨ヒ繁茂ニ過クル片ハ間拔レテ
他ノ林区ニ移植スヘシ又苗木ハ其樹種ニヨリ距離ノ
差異アリ直立スルモノハ六七尺枝條ノ傍暢スルモノ
ハ一ト乃至一丈二尺許ヲ隔ツヘシ而メ彼此相軋シ空
氣ノ流通アレク互ニ長育ヲ妨ル片ハ五年或ハ十年ニ
レテ間伐スヘシ其距離凡如此ヲ法トスト虫モ傾敵ノ
地ニ植ルニハ其距離疎ナルヲ要ス凡メ都テ位置ハ正
正ナルヲ良トス其排列左ノ二様ニ扱ルヘシ

但シ伐木跡地ニ種植スルニハ樹質ヲ考ヘ蓋樹トシテ旧樹ヲ各所ニ残シテキ新生ノモノヲ庇蔭セシム

第八條

肥料ハ人糞馬糞干鰯肉汁米藩雜草海藻朽木腐水油糟藁灰等樹質ノ適地方ノ便ニ由ルヘシ

但シ樹類ニヨリ糞溺ヲ忌ムモノアリ或ハ干鰯肉汁ハ虫害ヲ来タスモノアリ然ラザルモ扨テ樹木ハ穀菜ノ類ト異ナリテ濃肥ニ過クレハ枯損ノ害ヲ招致スルコトアリ故ニ概シテ輕糞ヲ澆クヘシ尤地所ノ廣狹肥瘠ニヨリ斟酌スヘシ

第九條

一実生ノ稚樹及新植ノ苗木ヲ保護スルニ夏日ハ炎陽ヲ遮蔽シ冬日ハ寒霜風雪ヲ除避シ草萊葛藟ノ類ヲ芟去シ或ハ虫害獸害及人害ヲ防閑スヘシ

但人害ノ如キハ或ハ盜伐或ハ放火或ハ惡戯等種々ノ弊害アリ之ヲ確認スルニ於テハ即時取押ヘ姓名居所ヲ詰問シ地方官或ハ警察官ニ引渡スヘシ鳥獸ノ害ハ銃殺或ハ構柵等ノ法ヲ設クヘシ其中最モ畏ルヘキモノヲ虫害トス凡病木損傷木ノ根由ハ大率虫害ヨリ胚胎ニ来ルモノナレハ速ニ之ヲ伐採セザルキハ必ス他木ニ傳染シ遂ニ滿林ノ大害ヲ惹起スヘシ

第十條

一本局ノ允可ヲ得実苗ヲ仕付ル場合ニ於テハ受買人ヲ
撰定シ書式ニ照シタル契約書ヲ領受スヘシ実苗トモ
ニ良好ノ上品ヲ棟擇シ丁寧ニ地柁植蒔ヲナサシムル
ハ勿論三ヶ年間枯損替植ヲ擔當セシメ身元確實ナル
保証人ニ立他日苦情ナキヲ要ス
但苗木ヲ買上ルニハ必ス苗床ニ於テ植替ヲナセシ
モノヲ撰フヘシ

第十一条

一植蒔成功ノ上ハ左ノ書式ニ從ヒ種樹標ヲ建ツヘシ
但種樹標ハ他ノ損害ヲ受ケサル地ヲ撰ヒ之ヲ建ツ
ヘシ

某年号某年某月奉内務卿姓名命使某等属姓名植某
樹幾何某官林地理局長姓名

第十二条

一時々植林ヲ巡視シ境界ノ位置保護ノ厚薄樹木ノ疎密
推樹生立及利害得失ニ注意スヘシ

第十三条

一看守人ヲ置カサレハ人畜ノ患害アルヘシト認ムル片
ハ其趣旨ヲ本局ニ上申スヘシ

苗木植付子実蒔付契約書雜記

苗木植付
子実蒔付

御受負書

某縣下何大邑何小邑
某山官林字何々ノ内

一 反別

此地 植付入費

一 金何円

或 此椶

苗木
子実

何方何千本
何石何斗

但

苗木
子実 何々年生 志坪ニ付一本植
志本ニ付代金
志石ニ付代金

一 金何円

是ハ

志人何裏持ニテ此人足何人
志人何斗持ニテ此人足円

但

苗木
子実 何國何郡何村ヨリ植付場迄何里
志人ニ付金何々

一 金何円

是ハ志人ニ付

一日何百本
一日何斗何升

但

苗木
子実 志人ニ付金何々

一 金何円

草刈取開墾費

是ハ志及ニ付何人掛

但志人ニ付金何々

一金

此人足何人

植付
後三年培養費
是々年内度下草刈取
是々年何百何十人
但志人ニ付金何四

合計何千何百何拾何四錢厘

此 苗木 何本
子実 何石

右 苗木 植付
樹実 藤付 培養入費積金高前書ノ通ニテ御請負可仕候然

ル上 ハ 植付
藤付 御下命ノ日ヨリ何日(雨天ヲ除)限り悉皆 植付
藤付 可

申尤 苗木
樹実 之義者一々御検査ヲ受ケ良好ノ品 植付
藤付 候ハ勿

論万 一 植付
藤付 後向三ヶ年間ニ於テ 根付
発生
不登 枯木等出来矣

節ハ何ヶ度ニテモ 植替
藤替 可申且右御請負期限中ハ時々見

廻リ下草刈取等精々丹精ヲ尽シ生育方等厚ク注意不都

合無之様可仕候依之御請負書付差上矣也

何縣管下何田何郡
何村番地

惣 兼 負 人 代 何 之 誰 印

同上

年月日

日 何 之 誰 印

右何之誰義ハ常々人物正実ニシテ從來 苗木 植付
子実 藤付 培養方

熟知之者ニテ前書御請書之趣相違無之候ニ付以段保

証仕候也

管地同郡
何村番地

保証人 何 之 誰 印

同上

同 何 之 誰 印

地方長官姓名殿

前書之趣相違無之候。付上申仕候也。

何管下何大区何小区

戸長 何之誰印

副戸長 何之誰印

右書式ハ地方長官ニ差出スモノトナスト雖氏若シ本
局出張所等アリテ当課ノ官員永年交代在勤スル場所
ハ直ニ本課官員宛ニシテ受取ル丁モアルヘシ

官林新植見込表

官林新植見込表

林名

等級

國名

郡名

村名

字

及別

地味

地勢

運搬

氣候

社 實苗種類

任 實每坪量

立 官林ノ量

日每合ノ價

日總量ノ價

日每坪ノ實價

日總實價

任 實每坪ノ數

日總林ノ數

日每本ノ價

日總量ノ價

日每本ノ實價

日總實價

合計

巡視人監守人傭入規則

第一條

巡視人ハ官林ヲ巡回シ其盛衰榮枯及監守人ノ勤惰ヲ視察スル者ナリ監守人ハ官林ヲ監護スル者ナリ

第二條

巡視人ハ分テ正官十等補官六等トシ月給ヲ附与ス等級及月級ハ左ノ如シ

巡視人

一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等
貳拾四	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十四	十三	十二
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

巡視補

一等	二等	三等	四等	五等	六等
十二	十二	十一	十二	十五	十四
錢	錢	錢	錢	錢	錢

但巡視ハ巡回ヲ以テ職掌ト為スカ故ニ月給ハ即事務
ト旅行トノ償ナリ是ヲ以テ別段ニ旅費ヲ給スルコトナ
シ尤病氣等ニテ巡回ヲ為サルコト五日以上ニ及フ片
ハ日割ヲ以テ半額ヲ減スルコトアルヘシ

第三條

監守人ハ分テ十三等トシ年給ヲ附與ス等級及年給ハ左
ノ如シ

一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等
拾五圓	拾四圓	拾三圓	拾二圓	拾一圓	拾圓	九圓	八圓	七圓	六圓	五圓	四圓	三圓

但右ノ外筆墨紙料トシテ年々金壹圓ヲ附與ス

第四條

巡視人ハ左ノ事項ヲ試験シ合格ノ者ヲ撰ムヘシ
一 性質善良是迄刑律ニ罹リ又ハ身代限等ヲ為シタル

一 無キ者

二 身体健康ナル者

三 算筆及粗図ヲ製シ得ル者

四 普通ノ書籍ヲ讀ミ普通ノ文章ヲ編ミ得ル者

五 官林従事ヲ志願シ漫ニ退役ヲ請ハサル者ヲ誓フ者

第五條

監守人ハ左ノ事項ヲ調ヘ合格ノ者ヲ撰ムヘシ

一 性質善良其近傍ニ住シ是迄刑律ニ罹リ又ハ身代限
等ヲ為シタルコト無ク村里ニ名望アル者

二 身体健康ナル者

三 算筆ヲ辨シ得ル者

四 身元甚々貧窶ナラサル者

第六條

巡視監守人ヲ傭ヒ入レシトスル時ハ第五條第六條ノ手續ヲ為シタル上區長及縣廳ニ照會シテ其人物ノ良否差支ノ有無ヲ問ヒ不都合無之旨回答アル時ハ巡視人九等以下監守人十等以下ハ出張負ニテ適宜傭入ルコトヲ得シ但撰擇踈漏ナルコトアル時ハ撰擇人ハ其責ニ任スヘシ

第七條

巡視人監守人ヲ傭入ル時ハ書式ニ照シタル仮傭状ヲ渡シ置キ直ニ本局ニ申立本辭令ヲ請ヒテ引替ヘシ

第八條

巡視監守人ヲ傭入シ時ハ書式ニ照シタル保証人アル請書ヲ取置クヘシ

第九條

巡視監守人ヲ傭入ル時ハ本局地方廳及關係アル巡視

人監守人ニハ其屬籍族種姓名年齢ヲ記シ書式ニ照シ三日間ニ差出シ又ハ通知スヘシ

第十條

巡視ノ給ハ前月ニ見込渡ヲ請求スヘシ局長ハ其定メタル最寄ノ銀行又ハ郵便為替局ニ廻金スヘシ出張負ノ銀行為替局ニ照會シ其本人ニ渡サセ例規ノ通仕上ケ書ヲ出納掛ニ出スヘシ

第十一條

監守人給料ハ十二月六月兩度ニ半年分ツ、前條ノ手續ニテ渡スヘシ

伐木規則

第一章

第一條

凡ソ官林ノ伐木ハ輪伐

樹木ノ多寡シテ年ノ生長ヲ

俗テ

輪次ニシテ之ヲ番切リナリ云フ

洗伐

先樹又ハ俗ニ密林ヲ洗スル

十伐

臨時伐ヨリ省伐

依頼人ノ諸願ニ又ハ燒枯損傷等ニ

リナ等ノ別アリ右ヲ再別スレハ猶用枝伐木薪炭伐木

等ノ別アリトイヘトモ大要ヲ分テ左ノ三類トス

一 一等伐木

二 二等伐木

三 三等伐木

第二條

凡ソ伐木ハ伐木掛ニテ之ヲ擔當スルモノトス

然レ凡木數寡少又ハ木種貴重ナラスシテ伐木掛ヨ

派出スルヲ要セサル場合ニ於テハ殖樹掛官吏ヲ

テ一時伐木掛ヲ兼務着手セシムル丁アリ木數益寡少
木種益貴重ナラスシテ殖樹掛ヲシテ兼勤着手セ
シムルニ足ラサル時ハ立木ノ俚人民ニ拂下ケ伐木
セシムル丁ナシトナサス故ニ前条ノ如ク之ヲ定
タリ今詳ニ之ヲ區別スヘシ
一 等伐木トハ故サラニ伐木掛ヲ派出シテ伐木スル
ヲ云
二 等伐木トハ殖樹掛ヲシテ一時伐木掛ヲ兼不伐
木セシムルヲ云
三 等伐木トハ立木ノ俚請願人ニ拂下ケ請願人ヲシ
テ伐木セシムルヲ云

第二章 一 等伐木

第三條 局長ヨリ一 等伐木ヲ命セラレタル時ハ伐

掛ニ於テ事業ノ大小運搬ノ便否諸傭ノ給料及ニ其他ノ
諸入費等ヲ詳明ニ計算シ各式ニ照シ伐木費見込簿
表ヲ作り出納掛ニ合評シ局長ノ閱覽ヲ經テ内務卿
ノ許可ヲ請フヘシ

第四條 右簿表ヲ許可セララル、時ハ伐木場ニ出張シ殖

樹掛ヨリ伐木スヘキ官林ヲ受取り木數ヲ改メ錐印シ
各式ニ照シ原木表三通ヲ作り二通ハ各自ニ配藏シ一
通ハ本局ニ差出スヘシ

第五條 伐木場出張ノ上ハ拙日雇木挽等ヲ傭入レ拙

頭日雇頭木挽頭等ヲ其内ニテ任撰スヘシ但右ノ給料
ハ場所ト時ト米價ノ高低等トニヨリ參酌ヲ要セサル
ヲ得サルヘシトイヘトモ左ニ記シタル額ヲ以テ月
的トシ米味噌等トイヘトモスヘテ定メラレタル銀

行ヨリ渡スヘシ杣未挽ハ厘代ニテ傭フヘシ厘代ハ入
山ノ上五日或ハ十日間工事ヲ執ラシメタル上之ヲ定
ル者トス

職名	賃給	白米	味噌	塩
杣日雇頭	貳拾五錢	九合	三十三文目	三勺三勺
杣日雇代人	拾八錢	九合	三十三文目	三勺三勺
杣日雇中廻	拾貳錢五厘	九合	三十三文目	三勺三勺
木鼻役	拾貳錢五厘	九合	三十三文目	三勺三勺
木尻役	拾貳錢	九合	三十三文目	三勺三勺
剗道役	拾壹錢五厘	九合	三十三文目	三勺三勺
杣木挽	厘代			
日傭	拾錢ヨリ多カ ラス三錢ヨリ少カラス	九合	三十三文目	三勺三勺
掬乘手役	拾四錢	九合	三十三文目	三勺三勺

掬乘手拾	拾三錢五厘	九合	三十三文目	三勺三勺
鴨乗手役	拾貳錢五厘	九合	三十三文目	三勺三勺
鴨乗手拾	拾貳錢	九合	三十三文目	三勺三勺
病氣休	不給	五合	白米壹升二合 三十七匁五分	白米壹升二合 三勺八勺
雨降怪我休	不給	七合	白米壹升二合 三十七匁五分	白米壹升二合 三勺八勺

但病氣怪我休三日限り與ヘサル丁

第六條 前条ノ場合ニ於テ助手ヲ要スル時ハ適宜
傭入ル、ヲ得ヘシ其日給ハ左ニ記シタル額ヲ以テ
日的トスヘシ

一等	二錢	三錢	四錢	五錢	六錢	七錢	八錢	九錢	十錢
四拾錢	三拾錢	三拾錢	三拾錢	二拾八錢	二拾五錢	二拾二錢	二拾錢	拾八錢	拾五錢

但川將ノ節ハ滞在一日ニ至拾弍巡回一日金貳拾弍ヲ給

第七條 杣日雇傭編伍ノ法ハ從前ノ慣習ヲ酌量シ

メテ嚴整ヲ要シ又勤儉病等ノ弊ヲ嚴防スヘシ

第八條 伐木委員ハ常ニ助手以下杣日雇及傭夫ノ勤

惰正否ヲ監シ之ヲ黜陟スルヲ得ヘシ

第九條 日晷ノ長短ニヨリ課工ノ時間ヲ増減シ其勞

逸ヲシテ偏重ナカラシムルヲ要ス

第十條 雨天其他疾病事故アルキハ杣日雇ニ休暇ヲ

與フルヲアルヘシト虽レ休暇中ハ總テ貸銀ヲ給セザ

ルヘシ但半途停業又ハ遲参早退スルキハ其時間ノ長

短ニ應シ其賃金ヲ差引ヘシ右等ノ場合ニテハ各式ニ

照シ簿上ニ明記スヘシ

第十一條 杣取ノ間ハ其木材間尺ヲ改メ各式ニ照シ毎

日間知簿ニ登記シ造材日締表十日毎ニ本局へ差出造

材濟總計簿表ヲ作り同様差出スヘシ

第十二條 伐木出張所及杣日雇小屋等ハ伺定ノ豫算

ニ照シ適宜建設スルヲ得ヘシ

第十三條 小屋掛用材其他炬火薪炭材等ハ可成要樹

雜木ヲ用ヒ注意シテ良木ヲ用ヒサルヘシ

第十四條 定メラレタル銀行出張人及出張人ヨリ杣

日雇等ニ拂渡スヘキノ米味噌等ハ出張所近傍ニ小

屋掛ヲ作りテ貸與ヘ同所ニ差置クヘシ但右出末上

テサルカ又ハ右小屋ニ差置キ難キ物品アリ一時民

家ヲ借り上ル節ハ一ヶ月十五圓未滿ハ日進金ノ内

ニテ仕拂十五圓以上ハ伺出ヘシ

第十五條 土地ノ便宜ニヨリ公ムコヲ得ス民有地ニ

小屋掛ヲ取建ルカ或ハ木材運送等ノ為メ耕地ヲ借

荒シ其他私有立木等ヲ損害スルキハ該地主ニ示談

シテ之ヲ處分シ右手当ノ為附与スヘキ金額二十圓
未滿ハ目途金ノ内ニ適宜仕拂二十圓以上ハ伺ヒ
出ヘシ

第十六條 鍋釜風呂桶等杻日雇ノ必需物ハ適宜買取
ルヲ得ヘシ

第十七條 木材切判及伐木所ノ旗章其他杻日雇等ノ
販賣ハ雛形ノ通制用スルヲ得ヘシ

第十八條 官負并御雇月給ハ本局ヨリ送致スヘシト
イヘ氏旅費ハ翌月三日迄中仕切精算書ヲ本局ヘ差
出シ本局ヨリ該地銀行出張人ヘ渡方達濟ノ上請取
ヲナスヘシ但月末銀行出張人ヘ照會シテ仮請取ヲ
得ヘシト虫氏前借ヲ為ス丁ヲ得ヘカラス

第十九條 助手杻日雇其他ノ給料ハ毎十日ニ銀行出

張人ニ照會シテ之ヲ拂フヘシ但杻日雇等前金借用
ヲ請求スルトキハ銀行出張人ニ照會シテ一時十日以
内ノ分ヲ貸渡シ月末ニ至リ精算勘定セシムヘシ

第二十條 伐木着手前杻日雇木挽等已ムヲ得サル事
情アリテ前金借用ヲ請求スルキ一組金百圓以上ハ相
当ノ抵当物差出サセ該所戸長ニ與印セシメ銀行出張
人ニ照會シテ貸渡サシムヘシ尤抵当物ノ差出方差聞
事實不得已場合ニ於テハ篤ト遂調査時宜見計身元慥
ナル保証人ヲ立サスルカ又ハ該所戸長保証ヲ以テ
同断ノ手續ヲ為スヘシ但証書ハ総テ書式ニ従フヘシ
第二十一條 始メテ入山ノ節及山神祭祀日等ニハ夫々
慰勞手当ヲ与フルヲ得ヘシ

第二十二條 傭夫給料及米塩噌其他必需ノ物品渡方ハ

出出張官吏捺印セル切符ヲ本人へ相渡銀行出張人ニ於
現品現品ト交換下ケ渡スヘシ

第二十三條 袖日雇木税等事業ノ為傷痍死亡等ヲ為シ
右手当或ハ埋葬料等ヲ要スル者ハ八年太政官第五十
四号達ニ照準一時見込ヲ以テ銀行出張人ニ照會シ貸
渡ヲ為サシメ追テ伺ノ上本手順ニ取計フヘシ

第二十四條 伐水中ハ注意シテ鋤印外ノ木ヲ伐リ又ハ
損傷シ又ハ肥土ヲ潰崩セス良苗ヲ傷害セサル様注意
スヘシ

第二十五條 伐木跡ハ現材ト伐株トヲ對照点檢シ書式
ニ從ヒ現材伐株對照簿表ヲ作り跡地ハ殖樹掛ニ返附
スヘシ

第二十六條 伐木セル木材ハ豫メ其負数寸間木種ヲ取
調簿表ヲ作り局長ヨリ命セラレタル網場又ハ貯木所
官吏ニ通知シ木材引渡スヘシ但其場合ニ於テハ双方
立會相改メ某ヶ所着材檢知簿表ニ通ヲ作り双方連印
シ一通ハ貯木所ニ藏シ一通ヲ携ヘ歸リ局長ニ復命ス
ヘシ

第二十七條 前諸條ニ記シタル金錢出納ハ總テ唇式ニ
照シ日締表月締表表ヲ作り日締表ハ十日毎月締簿表
ハ毎翌月初五日迄ニ差出スヘシ

第二十八條 伐木一体ノ事業整頓セハ唇式ニ照シ報告
唇ヲ作り差出スヘシ

第三章 二等伐木

第二十九條 局長ヨリ二等伐木ヲ命セラレタル者ハ第
三条ノ手續ニテ伐木費見込簿表ヲ作り伐木掛ニ差出

シ同掛ニ於テ精査ヲ為シ不都合ナシト認ル時ハ出納
掛ニ合評シテ局長ニ出スヘシ

第三十條 局長ヨリ右簿表ヲ許可セラル、時ハ第四條
ノ手續ニテ鍵印シ原木表ヲ作ルヘシ

第三十一條 局長ヨリ右簿表ヲ許可セラル、時ハ其額
ヲ以テ留メ札トナシ伐木ノ受買入札ヲ為サシメ若シ
受買入札ヲ為スモノ無クハ右留メ札ノ額ニテ受買者
ト契約シテ伐木セシムヘシ右場合ニ於テハ昏式ニ照
シ契約書ヲ取置クヘシ

第三十二條 前條ノ場合ニ於テハ常ニ監守人巡視人ヲ
巡回セシメ不都合ヲ豫防スヘシ

第三十三條 伐木竣功ノ上ハ原木表ト現木林トヲ對照
檢査シ昏式ニ照シ原木現材對照表ヲ作り更ニ伐木ケ所

ニ於テ原木表ト伐株トヲ調ヘ書式ニ照シ原木伐株對
照表ヲ作り局長ニ差出マヘシ

第三十四條 伐木費渡方ハ第二十條ニ照準シテ之ヲ取
扱フヘシ

第三十五條 伐木委負ハ伐木セル木林ヲ局長ノ命セラ
レタル網場貯木所等ニ引渡スヘシ其手續ハ第二十七
條ニ照準シテ取扱フヘシ

第三十六條 局長ヨリ特別ノ達ヲ以テ前條ノ木林ヲ發
賣セシメラル、時ハ賣材規則ニ照準シテ發賣スヘシ

第四章 三等伐木

第三十七條 立木ヲ人民ニ拂下ケ拂受人ヲシテ三等伐
木ニ着手セシメラル、時ハ立合テ樹木ヲ檢シ書式ニ
後ニ樹木引渡表ヲ作り引渡スヘシ但薪炭木ニアラサ

ル者ハ一々鋸印スベシ

第三十八條 前條ノ場合ニ於テハ時々監守人巡視人ヲ
相廻シ不都合ナキ様注意スヘシ

綿織網場官材取扱規則

第一條

本網ノ張渡ハ其年伐木ノ都合ニヨルト雖凡ソ十一月
西月ノ交水勢ノ定マレヲ待テ之ヲ架設シ翌年三月中收
頓スルモノトス

但本網張渡済ノ上ハ速ニ伐木委員へ報知シ本川拂込
ノ用意ヲ為サレムヘシ

第二條

本材着湊スルニ方リテハ出張委員或ハ其代理ヲナスヘ
キモノ賣地ニ蓋シ伐木委員ト立會木種木數寸間等ヲ點
檢シ書式ニ照シ某ヶ所着材檢知簿表ニ通ヲ作り十日目
毎取纏ノ双方檢印シテ一通ヲ網場ニ控へ置キ一通ヲ伐
木委員ヨリ本局長ニ差出スヘシ

第三條

桴組及架下ケハ入札法ヲ以テ請負人ヲ取極置着材次第漸次桴ニ編製セシメ成ヘク其場ニ停滯セサル様川下ケスヘシ

第四條

桴組出来架下ノ場合ニ臨ミ該桴ニ番号木數架出地月日ヲ書シ習慣實書ト云フ桴架人ヘハ手板習慣語ナリ桴組ノ木種木數寸間番号ヲ巾三四寸長并送状ヲ渡シ送奏セシムヘシ二尺許ノ板ニ明細記載ヤルヲ云

第五條

桴架下ノ順次桴送奏元簿ヲ製シ送状手板ト同様番号毎等ヲ明記スルモノ五日目ニ元簿寫ヲ仕向ケ場ノ貯木所ヘ郵便又ハ幸便ヲ以テ送付スヘシ

第六條

桴組并架下共之ヲ請負シムルニ於テハ別紙書式ニ照シ入札仕様帳ヲ製シ廣ク入札ノ上身元慥ナレ保證人ヲ立テ請負ハレムヘシ

第七條

梶枕及炬火用木等ハ可成不用損傷木ノ内ヲ拱ヒ鉋印上之ヲ請負人ヘ渡スヘシ

第八條

實際ノ都合ニヨリ請負不申付手人ヲ以テ直ニ桴下ケ取計ノ節ハ豫テ藤檜曾木其他桴編製必需ノ物品ヲ買入之レカ準備ヲナシ置ヘシ

第九條

暴風雨ノ模様アルニ於テハ速カニ傭夫ヲ募リ手安増張其他本綱ニ繫着スル木材ハ成ルヘキ丈柵内ニ狩入レ又

ハ陸揚レ総テ洪水防禦ノ準備ヲナシ精々其機ヲ失ハサ
ル様注意スヘシ

第十條

河水漲溢流脱材アルカ或ハ殆ント本網断絶セントスル
ノ景况ヲ察知セハ早ク助手及傭夫ヲ派出シ精々止木セ
シムルハ勿論仍ホ其旨至急沿川村吏及流材取締人ニ報
知シ夫々之レカ取締ヲナサシムヘシ但其他取締ノ手續
ハ流材取締規則ニ從フヘシ

第十一條

前條ノ場合ニ於テハ其旨至急白鳥出張官眞工通知シ臨
時助カヲ乞フヘシ

第十二條

事務繁劇ノ際ハ臨時助手ヲ舉用スルコトアルヘシ但此場

合ニ於テハ其旨速カニ本局一上申スヘシ

第十三條

出水ノ節助手以下傭夫等ヲ各村工派出セシムル場合ニ
於テハ書式ニ照シテ印鑑ヲ下付スヘシ但右印鑑雛形ハ
豫テ最寄ノ警察署ニ差出し置クヘシ

第十四條

本網收頓及出水ノ後ハ該所ハ勿論其他各抗所ヲ巡按シ
損敗アルアラハ經場詰ノ者ハ速カニ修繕ノ豫算ヲ立伐
木掛一商議シ出納掛ニ合評シテ本局一具申スヘシ但該
年伐採木ノ内ニ於テ適宜ノ木品ヲ撰ヒ伐木委員ハ該議
シ兼テ之ヲ網場ニ上ケ置本局ニ届出ル所及梓木鴨木等
修補ノ準備ヲナスヘシ右ノ場合ニ於テ伐木委員ハ原木
表ニ其由ヲ記入スヘシ

第十五條

前條修繕ノ場合ニ於テハ田枕其他木材切端シ等炬火ニ
作り其束數ヲ簿記シ最寄流材取締人々預ケ置キ証書取
之支消ノ分ハ都度差引届出シムヘシ

第十六條

本網製造白口藤蔓ハ前年降雪以前豫テ近傍官林中ニ就
キ其有無良否ヲ点查シ然ル後入札請負書ヲ添其旨本局
ニ具申許可ノ上ハ農事閑暇ノ時ヲ計リ之ヲ製索保存シ
置ヘシ

第十七條

梭欄

手安網製造ニ係ル麻及梭欄等ハ豫テ最寄地方ノ相場ヲ
問ヒ合ヤ其克ク水ニ耐ユルモノヲ購求シ土地農閑ノ時
ニ於テ之ヲ製作セシムルヲ要ス

第十八條

錦織枕内砂礫掘浚ハ秋冬ノ交水勢ノ减退スルヲ待テ水
量石ニ合五勺乃至ニ合ヲ定度トスヘシト虽凡仍ホ其年
洲嵩ノ多少ニヨリ篤ト實際ヲ考按查定シ入札受負書相
添其旨本局へ具申シ時機ヲ失ハサレ様之レカ準備ヲ
スヘシ

錦織網場民材取扱規則

第一條

木曾川筋材木伐出ニ付該所ニ於テ筏組取計ニ度モノハ此規則ヲ一覽シ第四條ノ網料ヲ差出サハ許可スヘシ但入山以前此規則ヲ熟覽シ凡木數尺メ并着材期限等豫見込相立書式ニ照シ該地出張掛ハ願出レモノトス但現場ノ都合ニ依リ貸渡期限ノ延縮ハ前以テ願主ハ相達スヘシ

第二條

本網ハ毎年十月十一月ノ交之ヲ施シ翌年三月中之ヲ收ムルヲ定期トナス但場合ニ由リテハ本設收頓共之ヲ延縮スルコトアルヘシ

第三條

前條定規架設ノ外臨時借用額出ルキハ詮議ノ上許可ス
ルヲアルヘシ
但此場合ニ於テハ網料ノ外張渡取纏其他右ニ関スル
諸入費ハ總テ之ヲ自辨セシムル者トス

第四條

網料ハ木品ノ善悪ヲ論セス尺メ一本ニ付金三錢ヨリ必
カラス五錢ヨリ考カラサレ現場相當ノ料額ヲ收入ス

第五條

第四條ノ間知改方及尺メ仕出方ハ該所着材ノ上掛官員
立會左ノ條欵ニ照シ間尺寸銘負數等詳細点検ノ上書式
ニ照シ間知尺メ明細表ヲ製スヘシ

第一 長二間一尺角ヲ尺メ一本ト算ス

第二 六尺以上十尺未満ヲ長一間トス但目戸穴敷代

尺之ヲ算入ス

第三 長十尺以上十三尺五寸未満ヲ一文トス但目戸

穴敷尺之ヲ算入ス

第四 長二間以上ハ長半間ニ付正尺三尺ヲ加ヘ延寸

ナキモノトス但長三間以上ハ目戸穴敷代ハ之ヲ
算入セス

第五 樽木割木ハ丸木尺メト同様ニ付ニツ割ヲ以テ

之ヲ算スルモノトス

第六 方五造ハ普通角尺メ全様ト心得ヘシ

第六條

出水ノ時ハ材主ハ掛官員ノ指揮ニ從ヒ自費ヲ以テ人夫
ヲ差出レ本綱ニ繫着セシ木材ヲ枕所ニ刈込又ハ陸揚ス
ヘシ如シ材主ニテ之ヲ為サ、レ時ハ官費ヲ以テ之ヲ為

レ其費用ハ材主ニ拂ハシムヘシ但官蔵ノ手安網豫備網
芋網梭欄網田網川船等ハ無代ニテ貸渡スヘシ
但右豫備網類ハ減水次第速カニ取纏ノ精々干揚シ上返
納スヘシ

第七條

出水ニテ一時狩込又ハ陸揚ヤレ木材ハ順次第組ヲ為シ
テ速ニ取拂フヘシ

第八條

出水其他一時ノ都合ニヨリ該所ニ引揚ケ姑ク積置キ度
旨願出シモノハ現場ノ都合ニヨリ聞届クルコトアルヘシ
但敷地料トシテ毎十日間現木一本ニ付金壹厘宛取立ヘ
シ

第九條

前以テ出願ナキ材木及ヒ然切判無極印等ノモノ不時出
水ノ際該所ニ漂着保安ヲ得シモノ其材主ノ判然スルニ
於テハ二人以上ノ保証人相立之ヲ引渡スヘシ此場合ニ
於テハ相當網料ノ外別ニ該材價十分ノ一ヨリ多カラサ
レ保安料ヲ收入スヘシ若シ其漂着ノ為ニ網及枕等ヲ損
傷スル時ハ又其價ヲ徴スヘシ其他ハ總テ本則ニ照準ス
但材主ノ判然ヤサル場合ニ於テハ明治八年第六十六号
同十年第二十九号公布ニ照レ処分スヘシ

第十條

該所附属枕所ノ中伊岐津志村字辻巻ニ於テ圍笵致度旨
願出シニ於テハ尺ノ一本ニ付金貳厘代一枚ニ付金三錢
宛ノ割合ヲ以テ取立ヘシ但シ網取出并取纏費等ノ手續
ハ總テ第三條四條ノ通タルヘシ

第十一條

非常出水ノ際左ノ枕所ニ漂着保安ヲ得ルモノ十日以内ニ引取申出ルニ於テハ尺ノ一本ニ付價十分ノ一ヨリ多カラサル保安料ヲ取立ツヘシ但シ十日ヲ過キ申出ナキモノニハ保安料ノ外仍ホ第八條ノ例ニ從ヒ敷地料ヲ收入スヘシ

細目村字油皆渡枕所

同村字高岩枕所

綿織村字逆巻枕所

伊岐都志村字逆巻枕所

伊岐都志村字塩口枕所

牧野村枕所

土田村字上ノ巻枕所

同村字中ノ巻枕所

同村字茶碗河戸枕所

同村字下切枕所

第十二條

網場枕所ニ於テ水揚ナシタル木材ヲ以テ木造又ハ家組

下造等ヲナスハ一切之ヲ禁止スヘシ

第十三條

此新類伐出スモノ該所ニ於テ留木取計ヒタキモノハ多少ニ拘ハラズ一日金三十錢ヨリ多カラサル網料ヲ取立ツヘシ但該所ニ於テ十日以上積置クコトヲ許サス

第十四條

網料納方ハ木鼻到着ノ際凡尺ノ高網料ノ半額ヲ上納シ残半額ハ椀皆拂ノ前相納ムヘシ若シ納方延滞スルハ椀下ヲ差止ヘシ但椀下差留メ置タル間ハ第八條ニ照シ敷地料ヲ收入シ猶三ヶ月ヲ過キ納付セサルモノハ該材ヲ以テ之ヲ算弁スヘシ

第十五條

民材經料ハ此規則ニ照シ之ヲ取立其前納ノ半金ハ其都

度書式ニ照シ仮元簿ニ記載シ追テ木材皆着ノ上實際尺
ノヲ精美シ料金全納ヤシメ書式ニ照シ料金取立精美帳
ニ登記スヘシ

第十六條

前條取立タル金員ハ領收ヤル分ヨリ本局ニテ定メラレ
タル銀行ヲ経速カニ之ヲ本局ニ送付スヘシ

第十七條

每一ヶ月料金取立并諸経費仕拂ハ書式ニ照シ請取証相
添翌月五日マテニ之ヲ本局ニ申告スヘシ

木曾川筋流材取扱規則

第一條

木曾川筋流材取締方ハ分テ左ノ三區トシ之ヲ分掌ス

第一區 木曾谷

第二區 中津川村ヨリ内田村ヨリ勝山村マテ

第三區 内田村勝山村以下白鳥マテ

第二條

第一區ハ伐木委員之ヲ管掌ス第二區三區ハ錦織網場詰
之ヲ管掌ス

但海濱工流失ノ節ハ白鳥貯木所ニ於テ臨時人夫ヲ雇
入レ之ヲ取締モトス

第三條

流材取締人ハ每區一人或ハ數人ヲ置キ鑑札ヲ渡シ一々

年間手宛トレテ三圓ヨリ五円マテヲ給ス尤出水使役ノ
砌ハ別段一日金五十錢ヨリ多カラス三十錢ヨリ少ナカ
ラサル賃金ヲ支給スヘシ

第四條

出水流材ノ節ハ出張官員於テ速ニ該地方廳へ通知シ夫
々取締ノ手配ヲナスヘシ

第五條

前條ノ場合ニ於テハ取締人ハ速ニ人夫ヲ召連レ沿流村
々へ出張シ取締方ニ從事スヘシ但鑑札所持セサルハ取
締人ノ効ナカレヘシ

第六條

蠟燭炬火等ハ豫シメ見込ヲ以テ渡シ置クヘシト虽氏尚
不足アルニ於テハ臨時買入請取証書ヲ以テ追テ精算ノ

上請取方申出ヘシ

第七條

取締人出張ノ節其所用ノ燈章及雇夫ノ服章ハ雖形ノ通
ルヘシ

第八條

出水ノ節取締人ニ於テ使役ノ夫負ハ流域ノ廣狭ト漂着
木ノ多クニ從ヒ適宜之ヲ増減スルヲ得ヘシ

但シ雇夫ハ一日金三十錢ヨリ多カラス十五錢ヨリ以
カラサル賃金ヲ支給スヘシ

第九條

漂着ヤレ木材ハ其木種寸間負數ヲ点検シ該村吏へ預ケ
置精密ナル預證書ヲ受取其旨速カニ該管出張所又ハ白
鳥貯木所へ報知スヘシ但出張官員ノ最寄便宜ノ地ニ在

レニ會ヤハ何レノ區ニ拘ハラヌ速ニ該官員ノ出張先ニ報告スヘシ

第十條

各地出張ノ官員ハ流材ノ多ク量リ便宜ノ地ニ出張シ村吏ヨリ差出ヤシ預リ証書ヲ取纏メ一々検査ノ上椀組取計白鳥貯木所ニ廻送スヘシ尤モ多數ノ流材ニシテ手廻リ兼ヌル場合ニ於テハ必スレモ自己擔當ノ管區ニ拘ハラヌ互ニ往來助カスヘシ

但椀組ハ實地ニ臨ミ時宜ク量リ手人ニテ直施スルカ又ハ入札ノ上請負ハシムヘシ

第十一條

河流各村ニ於テ漂着材ヲ隱匿レ又ハ切割其他不正ノ所業アルニ於テハ速カニ最寄警察所ニ通知シ嚴重之ヲ取

糾ス可ス

第十二條

流材取纏卒業ノ上ハ取締人ハ各其使役セシ傭夫ノ勤工簿其他臨時買得ノ物品証書ヲ以テ速カニ其擔當官員出張先ニ出頭スヘシ

第十三條

前條ノ場合ニ於テハ擔當ノ出張官員ハ其勤工簿ト買品請取証書ヲ検査シ一時経費金ニテ相当ノ賃金并代金ヲ繰替置キ引続キ書式ニ從テ簿表ヲ作り本局ニ申立精算スヘシ

白鳥貯木所取扱規則

第一條

桴着港ノ節ハ在勤ノ官吏実地ニ就キ桴乗ヨリ
差出セル手板并送收ト桴ノ番号木種ハ員数ヲ
参合改濟ノ上請取証ヲ渡スベシ

第二條

桴請取濟ノ上ハ送收ニ基キ順次着枚簿表送收
通
番号記号共
記載スヘシヲ製シ毎十日目ニ寫巻通ヲ本弓ニ送付
スベシ

第三條

着材水揚ノ際更ニ精密ノ間知ヲ遂ク木種寸間材
ノ良否ニ據等差例則ニ照シ等級ヲ勘別シ間知帳
ニ登記シ間知仮臺帳ヲ製シ日々間知ノ木種員数

寸間ヲ登録シ毎十日目ニ寫書通ヲ本局ニ送付ス
ベシ

第四條

間知濟ノ木材ニハ間知帳ニ記載セル木種寸間良
否ノ等級ニ應シ左式極印打込區別スベシ

木種極印

檜 (ヒ)

明檜 (ア)

榎 (サ)

榎 (マ)

柁 (ツ)

木材ノ良否等級分ケノ極印

最上 (△) 印ヲ三ツ打込

- 上上 (△) 印ヲニツ打込
- 上 (△) 印ヲ一ツ打込
- 中 (⊙) 印ヲ一ツ打込
- 下 (⊙) 印ヲ一ツ打込
- 下下 (⊙) 印ヲニツ打込

寸尺ノ極印

仮令ハ檜ノ貳寸ハ木種ノ極印 (⊙) ヲ貳ツ三寸ハ三ツ四寸
ハ四ツ五寸ハ五ツ六寸ハ五ツ省キ壹ツ七寸貳ツ尺壹寸
ノ如キモ五ヲ省キ壹ツ打込ノ類

然テ極印ハ他日見易カラシ為メ両端三尺以内ニ打込置
ヲ法トス

第五條

間尺改方ハ

第一長貳間經壹尺ヲ以尺ノ壹本トス
第二六尺以上壹丈貳尺迄ヲ丈物ト唱エ現在ノ丈
尺ヲ称用ス

但寸ハ切捨ノ事

第三壹丈三尺ヨリ壹丈五尺迄ヲ短貳間ト称ス

但尺ノ積方ハ長壹丈三尺以上ノ物ハ二間ニ算用
ス只短貳間ノ称呼ヲ以テ本間物ト區別スルノミ

第四壹丈六尺モノハ其實貳間半アリト虽也鳥代三尺
ヲ除キ貳間モノトス

但壹丈六尺以上ハ正三尺毎ニ半間ヲ増シ餘寸ナキヲ法
トス

第五三間以上ノ材木ハ目戸穴敷代ハ之ヲ算入セス

第六條

木種等級ハ左ノ例則ニ照シ定ムルモノトス

例則

一丸太材

第一最上 無節直材ヲ云

第二上上 小曲無節一方小節五ツヨリ少ナキヲ云

第三上 大曲無節小曲一方小節六ツヨリ十迄直
材ニシテ一方大節十ヨリ少ナキヲ云

第四中 直材二方大節三方小節ヲ云

第五下 節曲共兩様アルヲ云

第六下下 難水及大曲ニシテ大節アル悪木ヲ云

右節曲共墨打間内ニアルモノヲ指タル義ニテ間外ノ
分ニハ關係無キモノトス

第七條

木材積立方ハ年々伐出材ノ種類負数尺ノ等伐木
委員ヨリ回送ノ簿表ニ基キ種類ノ多少ニヨリ貯木所
構内積立場所ヲ廣狹適宜區畫シ木種ノ異同良否ハ勿
論寸間ヲモ分チ積立ツヘシ

但長大ノ良材ニシテ永遠保存ノ見込アル材ハ水田ニス
ベシ

第八條

枵皆着間知積立方整頓ノ上ハ間知仮臺帳ト併積ノ材
数トヲ突合セ精査ノ後書式ニ照シ間知簿表二通ヲ
製シ一通ハ該所ニ留置一通ハ本局ニ送付スヘシ
但臺帳整頓ノ上ハ着材ノ景況是状上申ノ為ノ携帶
出京セシムルヲアルベシ

第九條

網場ヨリ枵組發湊ノ通知書ヲ基本トシ枵ノ着否ヲ精査
シ發湊以來度外ノ延引ト見認ムルハ不着枵ノ記号番
号等ヲ詳記シ網場ヘ報告シ枵衆人詮議ノ手續ヲ照會ス
ヘシ

第十條

良材ハ東京并大阪等ニ運輸ノ積リ取調ヘ書式ニ照シ木
種尺ノ長短大小及回送費ヲ調ヘ簿表ヲ作り本局ニ出ス
ヘシト虽凡其土地ニ相應ノ望人アルニ於テハ其趣ヲ上
申スヘシ

第十一條

良材ノ外該地ニテ賣拂フヘキ見込ノ分ハ相當ノ見込定
價ヲ付ケ書式ニ照シ簿表ヲ作り本局ノ許可ヲ得テ適宜
發賣スヘシ簿表ハ番号其他ヲ分明ニ書記シ賣捌ノ度毎

之カシ差引ヲナシ明瞭記載スヘシ

但拂出ノ時ハ毎材必ス^(シ)ノ捺印ヲ鋳記スヘシ

第十二條

木切レ又ハ木端ハ適宜入札拂ヲナシ明細之ヲ簿表ニ記載スヘシ

第十三條

堀浚其他修繕スヘキ箇所ハ豫シメ其見込ヲ立之ヲ本局ニ申稟スヘシ但役所諸費修繕普請等ニ付金五圓以下ニ属スル定額經費ハ適宜取計翌月五日迄ニ月締表ヲ作り開申スヘシ

第十四條

材木水揚ケ積立等ニ付人夫ヲ雇上ルニ於テハ兼テ伺迄ノ豫算ニ照シ實際相當ノ賃銀ヲ支給スヘシ

第十五條

事務ノ繁間ニ依テハ一日五十錢以下ノ助手三人迄ヲ雇入ルヲ得ヘシ右ノ場合ニ於テハ三日以内ニ其旨ヲ申立ツヘシ

第十六條

名古屋材木相場月々取調ハ書式ニ照シ製表ノ上之ヲ本局ニ報告スヘシ

賣材規則

第一條

凡ソ材木ヲ發賣スルニ二法アリ

一 入札拂

二 相當拂

入札拂トハ前方公告ヲ為シ期日ニ至リ定メタル場所ニ於テ入札ヲ為シシメ高札ノ者ニ賣與スルヲ云

相當拂トハ第二條三條四條ノ手續ヲ以時價ヲ參酌シ本局ニテ定メタル價直ヲ以テ請求人ニ賣與スルヲ云

第二條

相當拂ハ勿論入札拂トイヘ凡運材費ニ於テ先ツ見込直段ヲ定メサル可カラス其直段ハ興業費

類 營業費

課中人費ノ給料旅費及私日雇木挽給料殖樹費廻材費賣捌費ノ類

貯木等細場等ノ地所家屋器械ノ多寡得失ヲ計

リ時價ヲ參酌シ殖樹掛出納掛ニ合評シ弓長ノ許可ヲ請ヒ之ヲ定ル者トス

第三條

前條興業營業ノ函費トイヘ凡單ニ一箇又ハ一部ノ材木ニ賦スヘキモノト教箇又ハ教部ノ材木ニ賦スヘキ者トノ別ナクハアルヘカラス故ニ發賣スヘキ木材ニ就キ單賦費即其樹木ヲ生長シタル費用地料種子雜苗ノ代價等付種付費ノ類但事數十百年前ニアル者ハ見込ト其樹木ヲ前伐シタル費用伐木委員旅費依ラ以テ之ヲ算ス小屋借家賃器械費私日雇木稅給費ノ類但綱場アル場等又ハ運搬貯藏等ニ付別段ノ費アル者ハ更ニ之ヲ算入スル者トストヲ合計シ更ニ分賦費本課等内外官負備俸給廳中費ノ類幾分ヲ分割配賦シ務メテ至當ヲ要スヘキ者トス

第四條

時價ハ供給需用ノ多寡適否ニ由リテ自然ニ生スヘキ者

ナリトイヘ凡僱人為ヲ以テ之ヲ上下スルコトアリ平生厚ク注意ヲ為シ時價高低ヲ生スル時ハ其原因ヲ討求シ其結果ヲ考ヘ見込直段ヲ改ムヘク又ハ改メサルヘカラスト思考スル時ハ直ニ見込ヲ陳シ弓長ノ許可ヲ請ヒ之ヲ定メ各貯水所ニ速達スル者トス但直段ヲ下ス片ハ特ニ出納掛ニ協議スヘシ

第五條

既伐ノ材價ヲ定ルハ第二條三條四條ノ通タルヘシトイヘ凡時里ニヨリ官省及ヒ其他ニテ事業着手前直段ヲ定メ買取ランコトヲ請求スル時ハ運材掛ハ殖樹掛ニ協議シテ其立木直段ヲ見込伐木掛ニ協議シテ其伐木費ヲ見込ニ第二條第三條ニ準擬シ猶代金授受ノ遲速ヲ參酌シテ見込ヲ立テ出納掛ニ合評シテ弓長ノ許可ヲ請ヒ之ヲ定

ル者トス

第六條

然レモ木ハ向キノ適否アリ從テ巨多ノ損益ヲ生スルカ故ニ伐木掛ヨリ木材受取ノ際厚ク注意ヲ為シ左ノ三類ニ分ケ書式ニ從テ簿表ヲ作り弓長ノ決ヲ請フ者トス

一 地拂

二 他所廻シ

三 圃ト置

地拂トハ其場所ニテ入札拂又ハ相當拂ニテ賣拂フヘキ者ヲ云フ

他所廻シトハ其場所ニテ賣拂ハズ東京大阪又ハ其他各所ニ積廻シ賣拂フヘキ者ヲ云

圃ト置トハ容易ニ得ベカラス又賣買セサル良材ニシテ

他日ノ需用又ハ善價ヲ待ツヘキ者ヲ云

第七條

入札払^ハヲ為ス場合ニ於テハ開札スヘキ場所日限時刻木種負数大小長短ヲ簡記シ遅クモ三十日前ニ於テ隣近諸新聞紙ヲ以テ公告シ當日ニ至リ第一條ノ見込代價ヲ以テ留札トナシ入札セシムヘシ但公告以後木材見置ヲ請ヒタル者ハ木材ヲ檢閲セシムヘキハ勿論入札規則ヲモ相示シ弥入札ノ見込アリト告ル者ニハ入札紙ヲ払ヒ渡シ且入札規則拂下ヲ請フ者ニハ是ヲモ払ヒ渡スヘシ

入札紙ハ入札規則ノ書式ニ照シ豫メ印刷シ置ヘシ

右ノ場合ニテ開札日ニ至ル時ハ投票人ヨリ入札ヲ受取リ順序ニ從テ番号ヲ記シ時刻ニ至リ公衆ノ目前ニテ開封シ一番二番ハ之ヲ讀上ケ豫定ノ價格以上ニ至ル時ハ

之ヲ賣リ至ラサル時ハ賣ラサルヘシ但兩様共直ニ本局ニ電報スヘシ

第八條

相當拂ハ別段ノ契約ニヨル者ナルカ故ニ豫メ一定スヘカラス然レモ第二條三條四條ノ見込直段ヲ踏ヘ猶代金授受ノ遲速ヲ參酌シ局長ノ決ヲ請ヒ托テ渡ス者トス但木材引渡ト代金受取トハ同時ニ為スヘシ虽モ買主身元ノ厚薄抵當ノ適否保証人ノ貧富ニヨリテハ實地ヲ參酌シ局長ノ決ヲ請ヒ緩急處分ヲ為スコトアルヘシ

第九條

薪炭木又ハ薪炭其他諸請求ノ砌ハ實地相當ノ見込ヲ立テ關係ノ掛ヘ合評シテ局長ノ決ヲ請フヘシ

第十條

賣材代金ハ右ノタル銀行ニ照會シテ相受取り本局ニ送致セシムヘシ其場合ニ於テハ銀行預リ証ヲ本局ヘ差出スヘシ

第十一條

賣材ハ書式ニ照シ日締月締表ヲ作り翌月五日迄ニ本局ニ指出スヘシ

第十二條

運材ノ事件ハ書式ニ從ヒ運材簿ヲ作り日締月締表ヲ添ヘ日締簿ハ翌日月締簿ハ翌月三日迄ニ局長ニ差出スヘシ

貯材入札拂規則

第一條

凡ソ入札拂受ヲ為サントスル者ハ此規則ヲ熟覽シタル
上賣材ヲモ熟覽シ甲号書式ニ照準一ト番号限リ一封ニ
シテ差出ス可キ事

但一ト番号ノ内小買ノ入札ハ不相成事

第二條

同号ノ内各種アルモノハ合金ヲ載セ内譯ニ種類及ヒ代
價ヲ記入スヘキ事

但同金額入札二人以上アルキハ入札差出ノ順番ヲ以
前番ノ者ヘ落札申渡事

第三條

開札ノ上高札ノ金額若シ當尙見込ノ價額ヨリ低價ニシ

テ拂下カタキト見認ルキハ此日ノ開札ハ取消シ更ニ日
期シ再入札ヲ廣告スルヲアルヘキ事

第四條

落札ノ申渡ヲ受タル者ハ三日以内ニ乙号書式ニ照準シ
落札代價十分ノ一ヲ以テ約定ノ證トシテ直ニ上納シ
リ十分ノ九ハ現品引取ノ節上納スヘキ事

但右十分ノ一ヲ上納セル上ハ假ニ該材ヲ引渡スヘシ
トイヘ氏殘金納濟ニ至ラサレハ他ニ運搬ルヲ許
サ、ルヘシ尤右仮渡ノ材ハ拂受人ニテ保護スヘキ事

第五條

右約定濟ノ上落札人ヨリ違約スルカ又ハ殘金皆納ノ日
ニ至リ納金滯ルヲアレハ最初證トシテ納メタル金額ハ
悉皆違約償金ニシテ沒收シ契約ハ無効トスヘキ事

第六條

右約定金ヲ受領スルキハ丙号書式ノ預書ヲ渡スヘキ事

第七條

木材引取ノ儀ハ一名尺メ百本以下ハ落札申渡ノ日ヨリ
十日限一名五百本以下ハ二十日限一名千本以下ハ三十
日限一名千本ヨリ五千本迄四十日限一名五千本以上志
万本迄ハ六十日限リタルヘキ事

第八條

代金上納ト現材引取トハ同時ノ筈ニ付暫時タリ氏代金
上納前ニ現材引取ヲ許サ、ル事

但正金上納ニ差支ルモノハ相當ノ公債證書ヲ納メシ
ムルヲアルヘキ事

第九條

入札人ハ現木點檢ノ上現品ニ就テ投票スルモノトス現
品ノ取ノ際木種長寸間等ノ差違アリテ苦情申出ル氏素
ヨリ熟視ノ上入札可致著ニ付一切不取上事

第十條

入札人目前ニ於テ開札ニ付テハ右相濟迄ハ退散不致係
ト可相心得事

第十一條

此規則ハ時宜ニヨリ改正スル事アルヘキ事

記

甲号

例ハ
ハ印

一金——程

檜——本

此尺メ
代金

長寸間

但尺メ壹本ニ付金何程

右ノ代價ヲ以テ御拂下相成候ハ、諸事御規則ノ通相
得代金上納可仕候依テ此段奉願上候也

何縣管下何大區何小區何國何郡何村町

何番地

何ノ誰印

入札

但裏封捺印ノ事

姓名印

何府
何縣管下何大區何小區何國何郡何村

乙号

一金何程

内金何程

右木材御拂下ニ付入札仕候處前書金高ヲ以テ札被仰
渡奉承知候右約定トシテ内金書面ノ通り上納仕候殘金
ノ儀ハ来ル何月何日現品引換無相違上納可仕候方一私
方ヨリ違約仕候節ハ右約定金ハ違約ノ償トシテ悉皆上
納可仕候仍テ如件

何府
何縣管下何大區何小區何國何郡何村

何番地
士族
平民

拂受人

何ノ誰印

明治何年何月何日

同

受入

何ノ誰印

内務省出張地理局

御中

丙号

一約定金何程

落札材代價何程ノ十分一

右木材拂下ニ付入札為致候處前書金高ヲ以落札相成右約定ノ証トシテ内金書面ノ通上納正ニ領收候テ殘金ノ儀ハ来ル何月何日現品引換ニ無相違上納可ク之候方一違約ノ節ハ右約定金ハ違約ノ償トシテ悉皆没収相成儀ト可相心得依テ如件

尾州熱田白鳥港

明治十二年何月何日

内務省出張地理局

何ノ誰殿

貯材相當拂規則

第一條

凡ソ貯材ノ相當拂受ヲ為サント欲スル者ハ此規則ヲ熟覽シ貯材所ニ申出拂下ラルヘキ木材ヲ熟覽シ印子書式ニ照シ願書ヲ出スヘキ事

第二條

本局貯木別帖ノ木種木材ハ大小良否既定ノ區分等級ニ應シ賣渡可申事

第三條

官民ヲ不論代價ノ儀ハ契約ノ時請渡可申事

第四條

官民ヲ不問拂請申出ノ前後アリト雖代價拂込ノ前後ヲ以テ順序ヲ立テ可申仮令ハ甲者數日或ハ數刻前ニ拂

請ノ申込有之乙ハ數日或ハ數刻後拂請申込ハ氏乙ハ即
時代價拂込ム時ハ甲者へ無報告ニテ直ニ乙者へ拂渡シ
甲者ノ申込ハ無効トナシ可申事

第五條

官氏ヲ不問買請者ノ都合ニ寄リ可買請契約ノ證トシテ
代價十分ノ一手付金差入ル、キハ仮リニ該品ヲ引渡シ
置可申尤代價全納ニ至ラサレハ該品ヲ他ニ運搬スルヲ
許サ、ルヘキ事

第六條

手付金差入ル、ト虽氏殘金ハ右契約手付金拂込ノ日ヨ
リ十五日間ニ拂込ヘキモノトス右日限ヲ經過シ殘金不
拂込時ハ手付金ハ買請者ノ損失ト定メ最初ノ契約ハ無
効トナシ他ニ拂下可申事

第七條

賣買契約濟代價授受或ハ契約ノ証トシテ手付金ヲ授受
シ該品引渡ノ後非常天災ニテ該品損失セシ時ハ授受ノ
金額ハ買請者ノ損失タルヘキ事

第八條

賣買濟ノ木材ハ三十日間ニ該地ヲ引拂ヘシ右日限ヲ過
ルキハ尺メ壹本ニ付一日壹厘ノ庭錢ヲ買請者ヨリ地理
局へ拂渡シ可申事

第九條

材木ハ等級ニ從ヒ豫メ仕分タルニ付該材引渡ノ際株積
等ノ都合ニ據リ順次引渡ス筈ニ付買請者ニ於テ取捨撰
取スルヲ許サ、ルヘキ事

第十條

材木渡方ハ賣買者立會場内便宜ノ場所ニテ引渡シ可申
右費用ハ地理局請持タルヘシト雖其引渡セシ場所ヨ
リ川出椽組等ノ費用ハ買請者持勿論タルヘキ事
但此場合ニ於テ買請者日傭等使役ニ困窮スル者ハ其
請求ニ應シ地理局ニテ心切ニ同所定日傭ニ請負ノ紹
介ヲ為スルアルヘシ

第十一條

此規則ハ時宜ニヨリ改正スルルアルヘキ事

木材相場取調規則

第一條

木材相場ハ賣材上緊要ノ件ナルカ故ニ主任ヲ定メ遲滯
ナク取調ヘシムル者トス

第二條

木材相場ハ賣材上緊要ノ件ナリトイヘ氏其影響ニ大小
アリ故ニ分テ三等トス

一 一等相場ヶ所

二 二等相場ヶ所

三 三等相場ヶ所

第三條

一等相場ヶ所ハ東京大阪白鳥秋田青森等ノヶ所アリト
ス

二等相場ヶ所ハ各縣廳下又ハ樹木需用多キ大市街ナリトス

三等相場ヶ所ハ各地ノ名邑等樹木ノ需用アルヶ所ナリトス

第四條

各地ノ相場ハ總テ出張官員ヨリ申告スル者トス然レモ一等相場ヶ所ハ右ノ外更ニ備負ヲ置テ之ヲ調ヘ每十五日ニ報告セシメ二等相場ヶ所ハ其府縣ニ依頼シテ毎月ニ報告セシムル者トス

第五條

尋常ノ報告ハ第四條ノ通タルヘシトイヘモ非常ノ高低アル時ハ定期ニ拘ラス特別ニ報告スル者トス尤右ノ報告ハ電信ナキ地ノ外ハスヘテ暗号ヲ定メ置キ電信ニテ

報告スル者トス

第六條

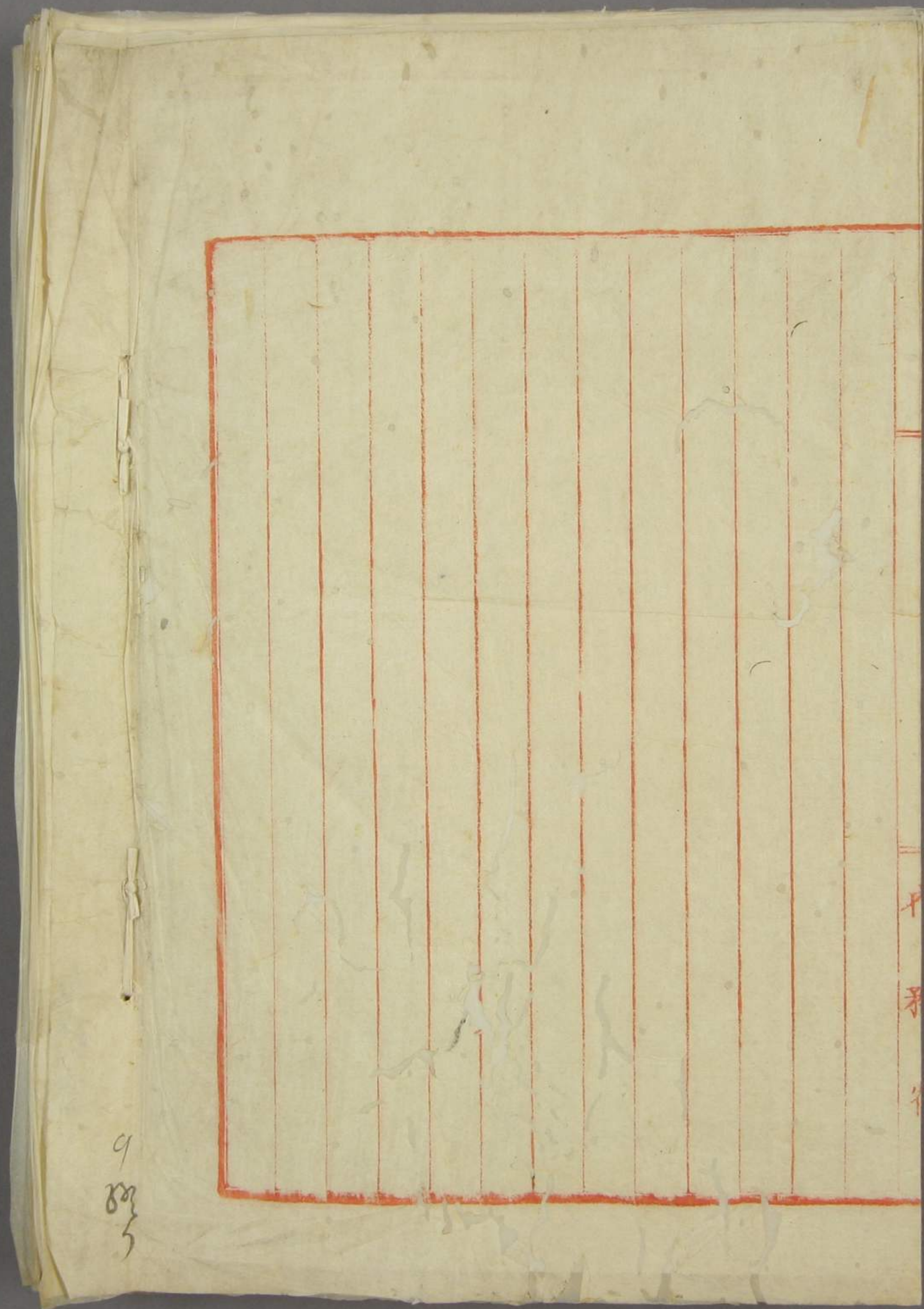
右報告書到來セハ賣材掛ハ即時局長ニ呈シ一覽後ハ時日ヲ移サス兼テ備ヘタル木材相場表ニ記入スル者トス

第七條

相場ノ高低ニヨリ各貯木所ニ告知スルヲ緊要ナリト思考セラレ、時ハ局長ニ伺ヒ尚時機ヲ謀リ電報又ハ郵便ニテ告知スヘシ

第八條

相場ノ高低ニヨリ兼テ定メラレタル定價ヲ増減セサルヘカラスト思考スル時ハ即時見込ヲ立局長ニ伺出各地ノ貯木所ニ達スヘシ



9
82
3

十
八
行